

学校だより



春里



平成28年度 10月1日号

学校教育目標

「生きる力」の育成

【目指す生徒像】

- ・笑顔で元気にあいさつする生徒
- ・礼儀正しく、仲良く助け合う温かい心の生徒
- ・進んで学習し、運動を好む生徒
- ・自ら考え、夢を持って行動する生徒

さいたま市立春里中学校

「感動の秋」



「芸術の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」「実りの秋」「食欲の秋」・・・何をするにも適した季節です。子供たち一人一人が真剣なまなざしで本気になって活躍する姿がたくさん見えるときです。先日行われた文化祭で生徒が見せてくれた芸術的な春里中学校の校風や運動部が新人戦で全力を出している（これから新人戦の部活も「全力を出してくれるだろう」と願いを込めて）姿から、子供たちの健やかなる成長が感じられ、胸が熱くなります。一年生は春里中学校の生徒としての顔つきになりました。二年生は学校の中心としての役割をしっかりとこなせるようになりました。三年生は自分の進路に向けて真剣に取り組む姿が見えてきました。中学生時期の一年一年の成長ぶりに感心するとともに、まだまだこれから前進していく生徒たちをより一層応援したくなる二学期です。

文化祭

9月17日（土）に「春里中学校文化祭」を実施しました。昨年の文化祭は合唱コンクールも兼ねて「市民会館おおみや」で行いましたが、時間の制約もあり「慌ただしかった」という声がかれました。今年は内容も充実させ、時間にも余裕を持たせるために、本校の体育館での実施を試みました。私は生徒に開会式で「この文化祭で次の2点について学んでほしい」と話しました。

- ①文化的な発表に触れ、鑑賞・見学の態度を身に付ける。
- ②春里中学校で行われている文化的な活動について知り、興味を深める。



文化祭の内容は「英語弁論」（学校代表生徒による英語での弁論）「国際交流発表」（さいたま市中学生国際交流事業春里中代表としてニュージーランドで体験した内容に関する発表）「ギターマンドリン部発表」「吹奏楽部発表」「美術部・科学部・生活部の展示発表」に加えてオーディシ

校長 松井秀史

ョンで合格した生徒有志によるパフォーマンス披露もあり、春里中学校で行われている文化活動に浸ることが出来ました。参観する生徒たちの鑑賞態度も素晴らしく、発表者と一緒になって盛り上がり、学校全体が一つにまとまって文化祭を作り上げた一日となりました。

運動部新人戦



9月24日（土）より「さいたま市中学校新人体育大会」が始まりました。この日は陸上競技部の大会だけでしたが、10月1日（土）からは各運動部の試合が行われます。どの運動部も3年生が引退し、2年生が部活動の中心として練習も頑張ってきました。結果はともあれ、各会場で春里中らしいさわやかなパフォーマンスを見せてくれるように期待しています。

貴重な経験



中学生の本業は「勉強」ですが、それだけではいけません。運動部に限らず「部活動」での経験は、人生の中で大いに役立つ経験・知識を得ることができます。学校内の部活でなく学校外での習い事でも結構ですが、中学時代に何かに思い切り打ちこむ経験は貴重なものです。新人戦で満足せず、次の大会に向けての努力が始まっています。

ちょっと一言・・・

中学生が成長するパワーはものすごいものだと感じます。中学校に入学した時の1年生は「少年」としての子供らしさが見えます。3年間のたくさんの経験を経て3年生として卒業する時には「青年」としてたくましく巣立っていきます。私ぐらいの年齢になると1年間や3年間での成長などあまり実感できずあっという間に過ぎて行ってしまいます。中学生時期の一日一日を大事に成長して行ってほしいと願っています。

